

【資料 1 — 4】

令和 8 年度災害時のアレルギー疾患対策における多職種連携の研修会実施要領

1 目 的

災害時にはアレルギー疾患を持つ人々は、食事の制限、避難生活のストレスなど、健康面への様々な悪影響が懸念され、アレルギー疾患が悪化する可能性がある。そのため、避難所設置主体である市町村と各種支援団体等（JDA-DAT、DMAT、JMAT 等）の多職種が連携し、安全・安心な避難生活を送れるように支援することが重要になる。

そのため、市町村職員が各種支援団体の役割を知り、災害時の連携について理解することを目的に研修を行う。

2 日 時

令和 8 年 1 1 月頃を予定

3 場 所

未定

4 開催方法

ZOOM による開催

5 対 象

市町村職員、保健福祉事務所職員、本庁関係各課等

6 内 容

時 間	内 容
	1 開 会
	2 あいさつ
(10分)	3 内 容（質疑は、全ての講演が終了後に全体の質疑応答として行う） (1) 行政説明 「市町村における災害時のアレルギー疾患対策に関する実態調査の結果について」 健康づくり推進課 保健技師 松井美花
(30分)	(2) 講 演 ①（仮）「災害時における体制整備について」 災害医療部 福島復興支援室 小早川義貴 氏

【資料 1 ― 4】

(30分)	② (仮)「災害時におけるアレルギー患者への食事対応について」 JDA-DAT
(30分)	③ (仮)「災害時におけるアレルギー患者への薬事対応・医療品供給等 について」 福島県薬剤師会
(5分)	4 質疑応答 5 その他 6 閉 会

7 申し込み方法

福島県電子申請システム（下記 URL）から申込みをしてください。

(1) URL

(2) 二次元コード

8 申込期限

令和8年10月末頃

9 その他

申込後、欠席される場合には下記問合せ先まで御連絡ください。

10 問い合わせ先

福島県保健福祉部健康づくり推進課 松井

TEL：024-521-7640